

# 七ヶ浜レポート 2月

足湯（土日・イベント時など随時）

## あたたまる身体と心♪



震災から11カ月が経ち、現地の様子も少しずつ変わってきています。私達ボランティアもこれまでの「緊急救援ボランティア」から「復興のまちづくり応援団」へと役割を変え、現地でも、地元名古屋からでも関わり続けていくことができるようになりました。

消えない不安や孤独、新たな悩みを抱えながらも、地元の方は集会所へ足を運ばれています。今までの、住民とボランティアとの繋がりではなく、住民の集まるコミュニティづくりのきっかけや、住民同士を繋ぐパイプ役となることを目指して、今後も活動を続けていきます。



### ～つばやき～

- ・足湯気持ちいい～。風呂にゆったりつかりたい。追い炊きができないのですぐ冷める。二重窓になって寒さが和らいだ。集会所に来るのは常連さんばかりで来にくい。老犬が震災後、1人（匹）にするとさみしがって吠える。同居のおばあさんの認知症が進み大変だ。今日は旦那を連れてきた。（50代女性）
- ・娘が去年の11月に死んじゃって。ほんとにほんとに疲れ果てて死んじゃったんだと思う。米と酒の店をやっている、仕入れが全部終わって落ち着いた次の日に地震があって、店も倉庫も自宅も一瞬でなくなって…。（80代女性）
- ・名古屋からは何度も来てくれて本当にありがたいです。高校生の方が来てくれてね、楽しくてまた来ますと言ってきて、その子のお母さんも来てくれてね。それから交流ができてね。（70代女性）

- ・男が外に出ない。それではだめだと思い、自分が代わりに外に出てる。仮設もあと1年だけと全然お金の面で間に合わない。（70代男性）
- ・息子がもうすぐ受験だね。31、1、2日と私立だけだね。私が緊張してもしょがないんだけどね。ここに来る前は親戚の家を転々としてね。足湯は仕事がない日と重なれば来れるんだよね。今日は家でごろごろしてたら呼びに来てくれたから来たんだよ。（40代女性）
- ・集会所では笑っていても1人になると悲しくなる。皆、本当はそうだと思う。仙台に行っても退屈だった。やはり知ってる場所がいい。（60代女性）
- ・湊浜に住んでいた。湊浜は七ヶ浜で一番小さい。10世帯位だけ低い場所だったから、全部流されちゃった。でも湊浜は七ヶ浜で一番目（に古い）なんだよ。足湯で出逢った違う浜の友達ができたよ。（80代女性）

# 七ヶ浜レポート 2月

## バレンタイン・イベント (2月11日)

### ♡みんなで楽しくチョコ作り♡



バレンタイン直前2月11日、応急仮設住宅以外で生活している方々を対象にチョコを手作りする企画が催され、8才～70代までの20名以上の方々が参加されました。あいち生協の皆さんのやさしい手ほどきの下、チョコレートを細かく刻んで、湯銭にかけて溶かし、ハートのカップに流し入れ…仕上げに色とりどりのトッピングをして出来上がりです♪



「チョコレート作ったのなんて初めて」「楽しいわね～」  
「子供がすごく上手でびっくり!」と、賑やかに500個以上のチョコレートを作りました。チョコは参加していただいた方にお持ち帰りいただいたり、会場に足を運べなかった方々へ向け、愛知から届いた心のこもったメッセージカードと共にお届けしました。

## 涙の再会 きずな館ボランティア 勝田さん

10月に七ヶ浜を訪れた際、きずな館の前で一人のおばあちゃんに出会いました。手には「お歳暮うるうるパック」の申込書をお持ちでしたが「本当にもらっていいんでしょうか?すみません」と、とても申し訳なさそうな表情だったのです...きずな館まで、40分もかけて歩いて来てくださったので、「車で送ります」と申し出たのですが、「私はそんなことしてもらえないから…」と頑なお断りになりました。

では少しだけ…としばらく一緒に歩いていると、ご家族の具合が悪くて避難所にも長くいられず、ずっと被災した自宅に住んでいることや、お孫さんが大学に入学するのにお金がかかるので、心配…と少しずつお話が始まり、「でも仮設住宅に住んでる身じゃないからね」と、途中から目には涙が浮かんでいました。

別れ際「また来てくださいね」と言うと「私はいいの、いいの」と去って行かれました。かける言葉も見つけれず、お名前すら聞くことができなくなったその方の涙が、いつまでも忘れられませんでした。

そして、チョコ作り企画の当日。なんと!その方が会場にいらしていたのです!お声かけすると、私と会ったことを思い出してくださり、「あの時はありがとね～あれから靴が届いてぴったりでね。家族みんなで喜んで。大事にとってあって、どっか出かける時に履いてくのよ」と。ステキな笑顔でチョコ作りを楽しんでいました。

「今日こそ送らせてください!」とお伝えすると、「今日は相棒ができたの。二人で歩いて帰るから」と、会場ではぴったり逢ったお友達と笑顔で帰って行かれました。

多くの方が繋いでくださったおかげで見ることのできた笑顔の涙…また忘れられないものとなりました。

# 七ヶ浜レポート 2月

きずな工房（月～金 10:00-15:00）

## ♡お雛祭りに向けて…♡



昨年工房オープンしたのを知った書道ボランティアの水戸さんが、貝びな持参で駆けつけてくださり、「わぁ素敵！」「私も作りたい！」という利用者さんの声にお応えして、この度、講座を開催することになりました。再度山形から来所され、貝びなの生地の手合わせや布の裁ち方など、丁寧に教えていただきました。皆さん色合わせに頭を悩ませつつも、童心に戻ったように楽しく生地選びや貝びなを作っていました♪



また、カラフルなちりめん素材で作られた「ふくろうのマスコット」。とってもかわいいですよ♪国際ソロプチミスト名古屋さんのご協力・ご指導にて、制作のご依頼をいただきました。利用者さんは、生地選びから表情の付け方まで、試行錯誤しながら制作に取り掛かっています。表情豊かなふくろうたちは、どうやら、作り手さんの顔に似ると似ないとか？



## ● ● ～皆さまのご支援のおかげです～ ● ●



工房の運営は、多くの方からのお力に寄って支えられています。様々な地域の団体や個人の方が、工房で使用する材料を送ってくださいます。皆さまからのお気持ちを大切に、工房を訪れる方にとっての安らぎの場になれば…と願うばかりです。



# 七ヶ浜レポート 2月

つながる遊び庭・こどもアートしちがはま (月1回)

## 簡単♪ 吊るし雛を作ろう♪

子どもでも作れる、安心・安全設計で、針や糸を使わず紙・フェルトとボンドで作る、簡単だけどとっても可愛い吊るし雛。未来予想図実行委員会の清野静香さんの設計で、子どもが「自分で作りた〜い」と言ってくれたり「材料を持ち帰って家でも作るわ〜」と大好評☆なんと参加者は90名!大賑わいの会場となりました。

また、長野県の飯田ボランティア協会さんから、タオルでつくった手のりサイズの犬「がんばるわんこ」のプレゼントも。「何色のわんちゃんがいい?」と嬉しそう。どこに行くのも手から離さない子、もらったあとに一緒にブランコに乗せて遊んでいる子もいました。



何度も七ヶ浜に訪れているラッシュさんのハンドマッサージは「1番の楽しみはこれなの〜」と予約が殺到するほど大人気!お母さんたちの喜ぶ顔がお子さんにも伝わり、とってもいい雰囲気。この癒しの時間には「復興は地元の自分たちから!」と熱い思いで参加された地元の学生が、思いっきり一緒に遊んでくれたので、子どもたちも大喜びでした!お子さんの元気な笑顔は、お母さんたちの原動力。この先の復興につながる大切な「たからもの」を、これからも守っていきたいと思います。

### ◆ ◆ ◆ つながる遊び庭(ば) ◆ ◆ ◆

### ◆ ◆ ◆ こどもアートしちがはまって? ◆ ◆ ◆

2011年7月から、主催：未来予想図実行委員会・RSY、共催：七ヶ浜町子育て支援センター・ラッシュジャパン・東北学院大学にて開催の、月1回の定期イベントです。

午前は親子で楽しめるワークショップ。午後はお母さんたちが、お子さんの手を離れて癒しの時間を過ごしていただくといった、親&子どものための企画です。



# 七ヶ浜レポート 2月

## 仮設店舗「七の市商店街」

### ★ 大売り出しの「七の市」 ★

震災前、七ヶ浜では毎月最終日曜日に、地元でとれた旬の魚介や朝採り野菜などを販売する朝市として「七の市」が開催されていました。現在は昨年12月にオープンした仮設店舗：七の市商店街で、以前と同じ日に、月1イベントとして「七の市」が開催されています。

各店舗には、この日のために特売品が用意されています。また店舗の他、地元の団体やボランティアによる出店ブースも。あさひ園さんのタイ焼き屋、神薙町内会さんの射的コーナー、静岡おでんの無料試食が行われ、どちらも大盛況！！神薙七ヶ浜復興記念の缶バッジも並んでいました。



### 葛蒲田浜・鈴政丸さん（ぼっけ祭りSさん）の声

七ヶ浜で獲れたカニを使った豪華カニ汁の無料試食と、生ワカメの販売に、スタートと同時に列ができていました。

「自分の獲ったもので、おいしいと言ってくれることが何よりうれしい。今はまだ地元の出店が少ないけど、七ヶ浜で漁ができてるってことを、七ヶ浜のみんなに知ってもらうためにも、出店しようと思ってさ〜。」

そんな熱い想いの込められたカニ汁は、本当においしかったです！！

RSYのブースでは、仮設住宅のお母さま方と一緒に作る、甘くてアツアツのお汁粉の無料配布と、きずな館に遊びに来てくれるCちゃん(小4)と一緒に作った玉入れ遊びコーナー。準備から運営までお手伝いしてくれました。

たくさんの住民の方が、お買い物やおしゃべりを楽しまれ、ボラバスメンバーと共ににぎやかな1日となりました。

今後、地元の出店が増え、海産物や野菜、住民の方々の心の込めた作品が「七の市」に並ぶ日が楽しみです！！

